

「捨てられない」「時間がない」「ずぼら」……
そんな人でも1日できる

「散らからない部屋」の作り方

『「モノを正しい場所に置く」だけで部屋は自然とキレイになる』

2016年12月9日（金）発売

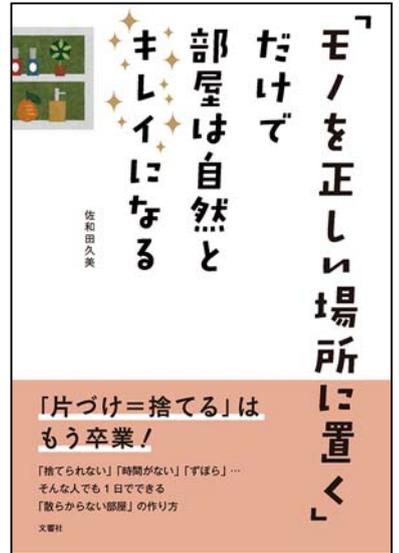


「モノの置き場所」を
正しくすれば
部屋は散らからない

本書は従来の片づけ本とは違い、「捨てること」「上手に収納すること」を目指しません。心地よい「ものの量」は人によって違いますし、うまくまわらなくてもだんだん雑になって、結果としてもの散らかった部屋に戻ってしまうからです。

本書が目指す「キレイな家」はとってもシンプルです。まずは、使いたいときに、使いたいものがすぐ近くにあること。そして、何かをしようと思ったときに、それに十分なスペースが、ちゃんと確保されていること。それが、「モノが正しい場所に置かれた」状態です。つまり、片づけを通して、今、その家に住んでいる人が、より快適に心地よく暮らせるようにすることを、目指しているのです。

そんな目標を達成するために、本書には、3つのリストをつけました。



【書籍情報】

書名：「モノを正しい場所に置く」だけで
部屋は自然とキレイになる

著者：佐和田久美

定価：本体1,250円+税

ISBN：978-4-905073-68-0

判型：四六判並製 160頁

発行：文響社

① よく使う日用品 まる ○な置き場所大図鑑

モノの正しい置き場所を見つけやすくするために、誰の家にもある50の品々の、GOODな置き場所、BADな置き場所を一覧にしました。

時間がないときには、この一覧を見てモノの位置を変えるだけで、毎日がちょっと快適になります。

② “本当に必要な” モノの個数リスト

お家が散らかる原因に、「ストックが多すぎて、本来しまいたいモノを、しまうべき場所に入れられない」ということがあります。本書では、暮らす上でちょうどいいストックの数を分析し、まとめました。一人暮らしでも、家族住まいでも対応できるリストです。



③ コピーして何度でも使える♪ モノの置き場所シート

それぞれの方が、自分の暮らしにあった場所にモノを置くための、「自分にちょうどいいモノの置き場所」を見つけるためのシートです。第4章のメソッドの手順で埋めていくと、どんなにモノの多いお家でも、「モノの正しい置き場所」が見つかります。

それに従ってモノのお引っ越しをすれば……もう二度と散らからない、快適な家ができあがります！

正しい置き場所が
見つければ
子供部屋も
いつでもスッキリ



◆ もう、掃除の前に
「モノをどかさず」必要はありません。

もうひとつ、本書のメソッドで片づけをしてみると、いいことが起こります。それは、「掃除の前にモノをどかさなくていい」こと。

掃除機やモップをかけるのを、「面倒くさい」「重労働だ」と思いませんか？ 片づいた部屋ならば、じつは、掃除機やモップがけはそんなに大変なことではありません。無造作にモノが置いてあるから、それをどけるのに手間がかかっているだけなのです。

本書の片づけメソッドでは、そんな「無造作に置かれたモノ」もスッキリ。だから、ちょっとした時間で掃除機もモップもかけることができ、部屋がいつでもキレイに保たれます。

また、お風呂掃除も大変な家事のひとつですよ。でも、こちらもちょっとした工夫をするだけで、その大変さが半減します。その方法は？ ぜひ、本書をめくってみてください。



◆ モノにだって、「居心地のいい場所」がある。

あなたが気に入って家に置いているモノ、あなたの家族が持っているモノは、すべて、あなたの人生を彩る品々。そうしたたくさんのモノによって、私たちの人生は形作られているのです。

でも、大切なモノと、捨てようかどうしようか迷っているモノがごちゃ混ぜになっていませんか？ 大げさかもしれませんが、それって何だか、あなたの大切なもの——あなた自身がないがしろになっている——ともいえるのではないのでしょうか。

「モノを正しい場所に置く」片づけを通して、ぜひ、人生の棚卸し——大事なものと、そうでないものを見直し——をしてみてください。

すると、毎日がもっと楽しく、自分らしく輝いていきます。そのために、頑張って捨てたり、新しく収納グッズを買い足したりする必要はありません。

始めるなら、今！ 片づければ片づけるほど、毎日が楽しくなっていくのです。



リリースのお問い合わせ先

株式会社文響社

TEL : 03-3539-3737

FAX : 03-3539-3738

E-mail : info@bunkyosha.com

【著者情報】

佐和田 久美 (さわだ くみ)

現在は、ハウスクリーニング会社「ワンズコピー」代表。これまで多くの家を「散らかり知らず」にしてきた、掃除と片づけのプロ。元「汚部屋の住人」。長男の出産をきっかけに、片づけに目覚め、ずばらでもできる片づけの方法を編み出す。